

2013年10月16日

区市アーチェリー協会会長・理事長 様

東京都アーチェリー協会理事長 近藤 均

全ア連公認インドア大会の出場資格について

首記の件について、9月5日開催の都ア協理事会において決定した事項について、改めてご通知申し上げます。ご不明な点は、当日出席の貴区市選出の都ア協理事等にご確認ください。

1. オープン大会の考え方【趣旨】

従来、オープン大会(東京インドアオープン等)については、全ア連への会員登録の有無を問わずに受け付けることを「オープン」という考えに基づき、いわゆるクラブチームの会員やいずれの協会にも所属しない個人についても大会への参加を認めてきました。

しかし、昨今の「大会運営の安全管理」や「協会運営の公正・公平性」等々を考慮し、『会員登録』の重要性に着目し、組織への登録を行わない者にまで責任を負うことができないという結論を得ました。

従いまして、今後、都ア協が主管する「全ア連公認大会」においては、全ア連会員登録を義務付けることとし、「オープン」の意味合いは『他の道府県の選手(全ア連登録は義務)の出場をオープン化する』というものとします。

2. 大会参加資格について

9/5開催の理事会の翌日以降に行われる「都ア協主管のインドア大会(全ア連公認)」における出場資格に、『当該年度の(公社)全日本アーチェリー連盟会員登録者』という文言を加えることとしました。ただし、都ア協の会員登録者については、全ア連未登録者についてもエントリーを受け付ける特例を設けます。

3. 現時点での未登録者について

上記のとおり、今年度の大会へのエントリーを予定していて未登録の方は、2013年度分最終登録が11月1日～11月20日と期日が迫っております。お急ぎ、所属の協会を通じて都ア協の総務部会登録担当者に手続きを行ってください。申請中の方のエントリーの可否につきましては、それぞれの大会事務局にお尋ねください。

◎9/5理事会の議事録抜粋◎【参考】

(1) 25年度のインドア要項及び申込方法について

※ 申込方法については省略

- ◆ 参加資格については、都室内は既に会員登録者のみとしているが、インドアオープンは未定のみであるが、2014大会はいかがするか決定したい。

※ 結論:全ア連公認試合であること及び、都ア協が今後目指す皆登録制を鑑み、2014大会からは、全ア連登録者(都ア協会員は都ア協登録も可とする)を出場資格とする。当日、会員証の確認も行うことも要項に明記する。